

<サイバー犯罪検挙事例>

■ 不正アクセス禁止法違反

- 無職女性（20代）は、平成30年9月、10月、Tポイントを不正利用するため、第三者のヤフーID及び及びパスワードを入力して、不正アクセスした。【令和元年7月、8月検挙】
- 19歳少年は、令和元年7月、セブンペイを不正利用するため、第三者のセブンID及び及びパスワードを入力して、不正アクセスした。【令和元年11月検挙】

■ 電磁的記録に関する犯罪

- 私電磁的記録不正作出・同供用、業務妨害

会社員男性（40代）は、ネットショッピングサイトにおいて、購入者情報として知人の住所や氏名等を入力して商品出品元のA社に商品を購入する旨の虚偽の情報を送信し、電磁的記録を不正に作出、供用した。

さらに、A社に、同注文が正規の注文であると誤信させて、商品発送の手続きをとらせるなどし、A社の業務を妨害した。【令和元年10月検挙】

■ その他（ネットワーク利用犯罪）

- 未成年者誘拐

会社員男性（50代）は、令和元年9月、ツイッターを利用して、未成年者を誘惑し、誘拐した。【令和元年9月検挙】

- 詐欺

無職男性（30代）は、平成30年5月、ツイッターを利用して、ライブチケットを販売する旨のメッセージを送信し、同チケット代金を騙し取った。【令和元年1月検挙】

- ストーカー行為規制法違反

臨時職員男性（50代）は、平成31年2月、電子メール（ショートメール）を使用して、知人女性に対してストーカー行為をした。【平成31年4月検挙】

- 商標法違反

会社員男性（40代）は、平成31年3月から令和元年6月までの間、ネットオークションサイトで、商標登録を受けている標章を付したステッカー3枚を約6千円で販売し、事業者の商標権を侵害した。【令和元年12月検挙】